

2025年度 大学院入学試験問題【I期】

商学研究科 商学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目

- 注1) 届け出た出題分野の3問中1問を選択し、解答用紙に解答すること。
 2) 解答用紙の所定の欄に、届け出た出題分野および出題番号を明記すること。
 3) 必ず日本語で解答すること。

○ 「経済」分野

1 以下の2つの問いについて解答しなさい。

- a. 新古典派経済成長理論：新古典派経済成長モデルを考えよう。ある経済では t 期において Y_t 単位だけ財が生産されている。総生産量 Y_t の一定割合は貯蓄されるため、 t 期の総貯蓄は $S_t = sY_t$ とする。ただし、 $s \in (0, 1)$ は貯蓄率である。総資本は $\dot{K}_t \equiv I_t - \delta K_t$ で推移する。ただし、 I_t は投資額、 K_t は t 期における総資本、 δ は固定資本減耗率であり、 $\dot{K}$ は K_t を時間 t で微分した値である。また、生産関数は $Y_t = AK_t^\alpha L_t^{1-\alpha}$ とする。ただし、 A は技術水準、 L_t は t 期における総労働、 α は資本分配率である。また、総労働は n の率で成長するとしよう ($\frac{\dot{L}_t}{L_t} = n > 0$)。

- $\dot{k}_t = sf(k_t) - (\delta + n)k_t$ を導出しなさい。ただし、 k_t は一人当たり資本 (K_t/L_t)、 $f(k_t) = Ak_t^\alpha$ である。
- 上記のモデルに基づいて、貯蓄率が上昇すると定常状態において何が起これるか、図を用いて説明しなさい。
- ソローモデルに基づいて、黄金律 (golden rule) について説明しなさい。
- ソローモデルでは成長率を決定するパラメータは外生である。それに対して、内生的成長モデルでは成長を説明する要因を内生的に説明する。内生的成長モデルの基本的なメカニズムをAKモデルに基づいて説明しなさい。

b. AD-AS 分析：以下の順番で解答しなさい。

- IS-LM-MPモデルに基づいて、総需要曲線が右下がりになることを説明しなさい。ただし、LM曲線の代わりにMP曲線を用いても構わない。言葉だけでなく、数式と図を必ず用いること。ノーテーションについては、自分で必要に応じて自由に導入して良い。
- 総供給曲線が右上がりになる理由をモデルを用いて説明しなさい。
- “予想された財政・金融政策”及び“予想されなかった”財政・金融政策がどのような効果を持つかについて、説明しなさい。

2 以下のすべての問いに答えなさい。

- a. 2人の消費者A,B, 2つの財 x, y からなる交換経済を考える。
- エッジワース・ボックスを描き、初期保有点、無差別曲線、および契約曲線を記しなさい。
 - iで解答した図を用いて、厚生経済学の第1基本定理・第2基本定理について説明しなさい。
 - 完全競争均衡点において成立する条件を述べなさい。
- b. ある財に関する逆需要関数が $p(Q)=10-Q$ (p : 価格, Q : 生産量) で与えられている。この市場はある独占企業によって支配されており、その企業の費用関数は $C(Q)=2Q$ である。
- 独占均衡における財の価格、および企業の生産量を求めなさい。
 - 独占均衡におけるラーナーの独占度を求めなさい。
 - 本問の設定にもとづき、消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰、および死荷重となる領域を図示しなさい。

- 3 Yを実質GDP(生産量)、Lを就業者数(労働)、Kを民間資本ストック(資本)、下付きの添え字tを時点として、コブ・ダグラス型の生産関数
- $$Y_t = A L_t^\alpha K_t^\beta \quad (*)$$
- を想定し、時系列データにより α と β をパラメータとして推定することを考える。このとき、以下のすべての問いに答えなさい。
- パラメータ α と β をOLS(通常最小二乗法)で推定するために、(*)式をどのように変換して回帰式とするのがよいか。回帰式を明示して説明しなさい。ただし、(*)式中のAも固定値として推定するものとする。
 - 2001～2020年の暦年データにOLSを適用したところ、 α の推定値は0.508(0.188)、 β の推定値は0.316(0.162)という結果が得られた(カッコ内は標準誤差)。パラメータ α と β の推定値に対して両側t検定を適用した結果について、有意水準1%のケースと有意水準5%のケースに分けて論じなさい。ただし、自由度とt値を計算し、t分布表で臨界値を特定すること。
 - コブ・ダグラス型の生産関数が一次同次($\alpha + \beta = 1$)であると想定するとき、どのような回帰式を推定すればよいか。回帰式を明示して説明しなさい。ただし、OLSのみ利用可能であるものとする。

t分布表(各確率における臨界値)

自由度	上側確率			
	0.05	0.025	0.01	0.005
1	6.314	12.706	31.821	63.657
2	2.920	4.303	6.965	9.925
3	2.353	3.182	4.541	5.841
4	2.132	2.776	3.747	4.604
5	2.015	2.571	3.365	4.032
6	1.943	2.447	3.143	3.707
7	1.895	2.365	2.998	3.499
8	1.860	2.306	2.896	3.355
9	1.833	2.262	2.821	3.250
10	1.812	2.228	2.764	3.169
11	1.796	2.201	2.718	3.106
12	1.782	2.179	2.681	3.055
13	1.771	2.160	2.650	3.012
14	1.761	2.145	2.624	2.977
15	1.753	2.131	2.602	2.947
16	1.746	2.120	2.583	2.921
17	1.740	2.110	2.567	2.898
18	1.734	2.101	2.552	2.878
19	1.729	2.093	2.539	2.861
20	1.725	2.086	2.528	2.845

○ 「流通・マーケティング・交通」分野

- まず、(1)伝統的な(リレー型)新製品開発プロセスを説明しなさい。次に、(2)インターネットが普及した後に登場した新製品開発の新しいプロセスを説明しなさい。そして、(3)両者の類似点と相違点を説明しなさい。
- 「小売の輪の理論」に始まる小売営業形態の生成・発展に関する諸仮説のうちで、(1)ニールセンが提唱した「真空地帯仮説」について説明してください。続いて(2)レヴィらによって提唱された「ビッグ・ミドル仮説」について説明してください。そして(3)「真空地帯仮説」と「ビッグ・ミドル仮説」の類似点と相違点について述べてください。
- 具体的事例をあげながら、交通産業がかつて厳しい規制に置かれた背景及びその後の規制緩和の経緯を説明しなさい。また、規制緩和による今日の交通市場に与える悪影響を論じなさい。

○ 「経営・情報」分野

- ビジネスにおけるデータ分析で2値の予測を行うことがあります(たとえばある顧客が次の期に離脱する／しない、ある企業は翌年に倒産する／しない、など)。その際一般にどのような分析手法を用いるか、また予測の正確性を評価するためにどのような指標を使うか、そのような指標間にどのようなトレードオフがあり、それにどう対処すべきかについて述べて下さい。そのとき、以下の語句について解説することが望まれます: 真陽性・真陰性・偽陽性・偽陰性、特異度、感度、精度(precision)・再現率(recall)・正解率(accuracy)、第一種・第二種の誤差、妥当性検証(validation)、ホールドアウト。
- 日本企業の組織特性を「垂直構造」と「水平構造」の両面から考察し、それらによって生じる優位性と劣位性について論じなさい。
- 日本証券取引所が公表しているコーポレート・ガバナンス・コードでは、取締役会の多様性が求められている。なぜ、コーポレート・ガバナンスにおいて、取締役会の多様性などのダイバーシティ経営が求められているのか。「コーポレート・ガバナンス」、「ダイバーシティ経営」の意味する事柄を簡潔に示した上で、コーポレート・ガバナンスにおいて、ダイバーシティ経営が求められる理由について述べて下さい。

○ 「会計」分野

- 原価計算理論における「異なる目的には異なる原価を(Different Costs for Different Purpose)」を、具体的な例を示しながら説明しなさい。
- 現行の会計基準に基づき、(1)企業が従業員に対する投資をどのように会計処理しているか、(2)その合理性とデメリットについて述べてください。
- のれんを含む資産グループについて、減損損失が認識されるとする。その際、資産グループでの回収可能価額が見積もられるとともに、個々の資産の簿価は明らかになっている。どのような考えから、グループ内で減損損失が個々の資産に配分されるか、述べなさい。のれんが含まれている点に留意すること。

○ 「金融・証券・保険」分野

- 1 日本銀行の業務に関連して、(1)物価の安定、(2)金融システムの安定、(3)マネタリーベースとマネースtock、をそれぞれ説明しなさい。
- 2 標準的なポートフォリオ理論に基づいて、最適ポートフォリオ決定の仕組みについて、詳しく説明しなさい。説明においては、文章だけでなく数式・図・例を用いてもよい。
- 3 リスクマネジメントについて、「リスク（ロス）コントロール」、「リスク（ロス）ファイナンス」には、それぞれどのようなものがあるか、具体的に説明してください。また、「分散」がリスクマネジメントにおいて果たす役割についても説明してください。

○ 「貿易」分野

- 1 貿易取引に使用される貿易条件（定型取引条件）のうち、F O B 条件と C I F 条件について契約当事者（売手・買手）の視点から果たすべき義務内容を列記した上で、両条件の違いを説明しなさい。
- 2 近年の米中対立が国際貿易秩序に与えた影響をまとめたうえで、今後の展望について論述しなさい。
- 3 ビジネス交渉における交渉者間の利益の配分について3つの類型を論じなさい。

2025年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

商学研究科 商学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目

- 注1) 届け出た出題分野の3問中1問を選択し、解答用紙に解答すること。
 2) 解答用紙の所定の欄に、届け出た出題分野および出題番号を明記すること。
 3) 必ず日本語で解答すること。

○ 「経済」分野

1 以下の2つの問いについて解答しなさい。

- a. 2期間モデル：シンプルな2期間モデルを考えよう。消費者の2期間の効用関数は、 $u(c_1) + \frac{1}{1+\rho}u(c_2)$ とする。ただし、 c_1 、 c_2 はそれぞれ1期目、2期目の消費、 ρ は割引率 (discount factor) である。また、効用関数は $u' > 0$ 、 $u'' < 0$ を満たす凹関数とする。この消費者は1期目に w_1 だけの所得を受け取り、2期目に w_2 だけの所得を受け取る。また、消費者は貯蓄をした場合、 r だけの金利がつくとする。すなわち、貯蓄額を s としたときに、1期目の予算制約は $c_1 + s \leq w_1$ 、2期目の予算制約は $c_2 \leq w_2 + (1+r)s$ である。

i. 生涯予算制約を導出しなさい。

ii. ラグランジェアンを設定して、制約付き最大化問題から、オイラー方程式を導出しなさい。

iii. 借入れ制約 $s \geq 0$ が存在するとする。この制約がバインドする条件を図及び数式から説明しなさい。

- b. フォワードガイダンス：ニューケインジアンモデルに基づいて、フォワードガイダンス (あるいは時間軸政策) について説明しなさい。モデルを設定する際のノートーションについては、自由に導入して良い。

2 以下のすべての問いに答えなさい。

- a. 2人の消費者 $i=A, B$ 、および2つの財 x, y からなる交換経済を考える。消費者 i の効用関数が $u^i = x^i y^i$ (x^i, y^i : 消費者 i の x 財および y 財の消費量) であるとする。
 (1) パレート効率的な配分を計算し、エッジワース・ボックスを描き、契約曲線を図示しなさい。
 (2) 消費者 A, B の初期保有量がそれぞれ、 $e^A=(4,3)$ 、 $e^B=(6,3)$ で与えられている。このとき、競争均衡における価格比と各消費者の最適消費量を求めなさい。
 (3) (2)の解答をもとに、消費者間でどのような取引が行われたのか説明しなさい。
 b. 同質財を生産する2企業が存在し、価格競争を行っている。両企業の限界費用は等しく c である。この市場では、より低い価格を設定した企業が需要を残らず獲得し、同じ価格の場合、需要が折半される。
 (1) ナッシュ均衡を求めなさい。
 (2) (1)で解答した価格以外に、ナッシュ均衡がないことを示しなさい。

- 3 消費 C を従属変数、所得 Y を独立変数とし、 u を誤差項、 α と β をパラメータとして、消費を決める回帰式

$$C = \alpha + \beta Y + u$$

に OLS (通常最小二乗法) を適用することを想定する。このとき、 β を正しく推定できない可能性について以下のすべての問いに答えなさい。必要に応じて回帰式を変形して解説すること。

- a. 「逆の因果」のあるケースでは β を正しく推定できない理由を説明しなさい。
 b. 「除外変数」のあるケースでは β を正しく推定できない理由を説明しなさい。
 c. 「測定誤差」のあるケースでは β を正しく推定できない理由を説明しなさい。
 d. β を正しく推定できない可能性について上記 a~c に共通する計量経済学的な問題は何か。簡潔に説明しなさい。

○ 「流通・マーケティング・交通」分野

- 1 まず、(1)AIDMA のプロセスを説明しなさい。次に、(2)インターネットが普及した後に登場した新しい消費者購買行動プロセスを説明しなさい。そして、(3)両者の類似点と相違点を説明しなさい。
- 2 小売商業集積に関して、(1)計画的 SC (ショッピングセンター) の特性を商店街と対比しながら説明してください。続いて(2)商圈規模によって計画的 SC を分類し、各々のタイプについて説明してください。そして(3)近年、注目されるパワーセンターとライフスタイル・センターについて各々、その特性を説明してください。
- 3 具体的事例をあげながら、交通市場における外部補助と内部補助の概要及び実施にあたって、それぞれの欠点について具体的に論じなさい。

○ 「経営・情報」分野

- 1 ビジネスにおけるデータ分析や研究において統計的仮説検定がしばしば行われますが、その際 p 値 (p value) を参照するのが一般的です。回帰分析を例として、p 値は統計理論上どのような意味を持ち、どのように利用されるべきかについて述べて下さい。そのとき、以下の語句について解説することが望まれます：帰無仮説、棄却域、有意水準、両側／片側検定、t 分布／F 分布、第一種／第二種の誤差。次いで、最近話題になっている p ハッキング (p hacking) と呼ばれる問題について具体的に解説し、特に研究の観点から、何が問題でどう対処すべきかについて述べて下さい。
- 2 日本企業では米国企業に比較して詳細な職務分析の必要性を低く認識する傾向があるが、それはなぜかについて複数の要因を指摘した上で、詳細な職務分析を行わないことによる利点と欠点について論じなさい。
- 3 経済産業省は、人的資本経営を通じて、人材の価値を最大限に引き出し、中長期的な企業価値の向上につなげることを日本企業に求めている。そのために、企業のパーパスに基づき、従業員のエンゲージメントを高めることが必要であるとしている。「企業のパーパス」、「従業員のエンゲージメント」の意味する事柄を簡潔に示した上で、人的資本経営において、企業のパーパスに基づいて従業員のエンゲージメントを高める必要がある理由について述べて下さい。

○ 「会計」分野

- 1 Malmi and Brown (2008) が "Management Control Systems as a Package" *Management Accounting Research* において論じている「パッケージとしての MCS (マネジメント・コントロールシステム)」とはどのようなものか、またその特徴についても説明しなさい。
- 2 サステナビリティは重要な課題となっています。会計がサステナビリティの課題にどのように取り組むべきかについて、会計の目的、会計の対象、会計の役割、会計の手法及び会計制度などの側面から論じてください。
- 3 社債発行費について、一括して費用計上する方法と、繰延資産としたうえで利息法あるいは定額法で償却して費用配分する方法が考えられる。そのうち、社債発行費を繰延資産とする場合、利息法での配分が原則となっているが、なぜこのような考え方がとられているか、資金調達観の観点から理由・立場を説明しなさい。

○ 「金融・証券・保険」分野

- 1 貨幣・通貨に関連して、(1)貨幣の価値尺度機能、(2)貨幣の交換機能、(3)貨幣の価値貯蔵機能、(4)中央銀行デジタル通貨と仮想通貨 (ビットコインなど) の共通点と相違点、をそれぞれ説明しなさい。
- 2 企業の資本構成に関する MM 理論の第 1 命題、第 2 命題、修正第 1 命題、修正第 2 命題、および、トレード・オフ理論の 5 つについて、詳しく説明しなさい。説明においては、文章だけでなく数式・図・例を用いてもよい。
- 3 「逆ザヤ」という用語を説明した上で、1990 年代から 2000 年代にかけて、日本の生命保険会社が破綻した理由と破綻した生命保険会社がどのように処理されたのか、説明してください。また、「逆ザヤ」が生じた当時の金融政策などの経済的な状況についても説明してください。

○ 「貿易」分野

- 1 貿易取引で使用される船荷証券 (Bill of Lading, B/L) のもつ特質を説明し、同証券が約上品の権限移転にどのように関連しているかを論じなさい。
- 2 世界貿易機関 (WTO) 体制の今日的意義とその限界についてまとめたうえで、今後の展望について論述しなさい。
- 3 ハーバード流交渉術において感情の問題をどう処理するかについて論じなさい。